

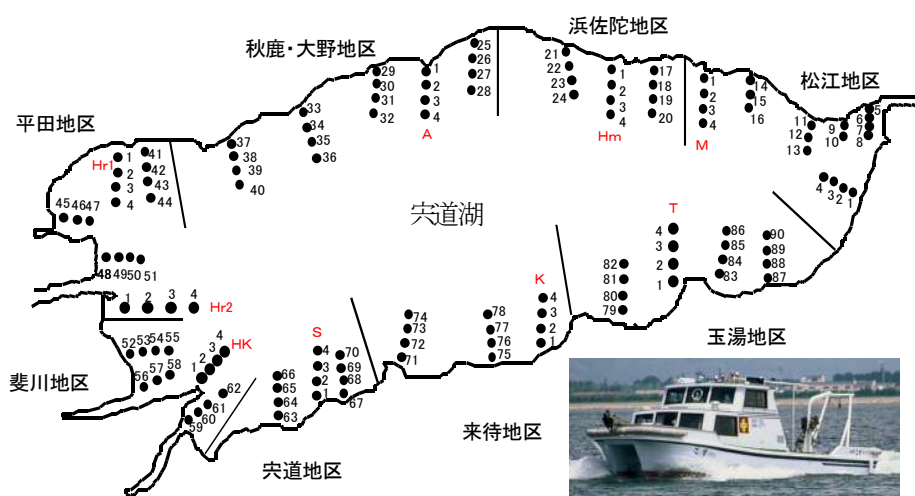


とびっくす No.94

(本誌はホームページでもご覧いただけます。http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/)

令和2年度春季ヤマトシジミ資源量調査結果 ～秋季からは減少、しかし成貝個体数、重量は昨年春季の2倍～

水産技術センター内水面浅海部では、毎年6月(春季)と10月(秋季)に宍道湖に生息するヤマトシジミ(殻長2mm以上)の資源量を推定するための調査を行っています。今年度の春季調査は6月9日・10日に実施しましたので結果を報告します。



調査船「ごず」

図1 調査地点

調査方法

図1に示す調査定点(126ヶ所)において調査船「ごず」を使用し、スミス・マッキンタイヤ採泥器で各定点2回(面積0.1㎡)、湖底の砂泥と一緒にヤマトシジミを採集しました。採集した砂泥サンプルは、フルイでサイズ別に選別し、生息密度と水深別の漁場面積から宍道湖全体の資源量を算出しました。

調査結果および考察

令和2年春季のヤマトシジミの資源量(表1)は約3万4千トン、927億個が生息していると推定されました(令和元年秋季は約6万4千トン、1,440億個)。令和元年秋季の調査結果と比べると、重量で約3万トン、個体数で513億個減少しています。

内訳をみると、漁獲対象である殻長17mm以上は、約1万4千トン、60億個でした。これは、平成14年に詳細な資源量調査を開始して以降の、春季資源量の過去18年平均値(約1万6千トン)の87%、資源が急増した昨年秋季(約2万2千トン)の63%でした。殻長12～17mm未満の漁獲対象に達していない成貝は、約1万4千トン、154億個と、急増した昨年

表1 ヤマトシジミの資源量

サイズ		重量 (トン)	個体数 (億個)
未成貝	殻長12mm未満	6,058	713
成貝	殻長12mm以上17mm未満	13,716	154
	殻長17mm以上(漁獲対象)	13,984	60
	成貝合計	27,700	214
全資源量		33,758	927

秋季(約2万7千トン)からの減少幅が比較的大きく約半分になりましたが、殻長12mm未満の未成貝は約6千トン、713億個と、未成貝の加入量が多かった昨年春季(871億個)とほぼ同等でした。

昨年秋季からの減少量はやや大きくなったものの、過去と同様な資源動向となっています。この時期の資源の減少は、秋季～春季の間はほとんど成長しないため、漁獲や、キンクロハジロ、スズガモ等の潜水カモ類による捕食等によるものと考えられます。

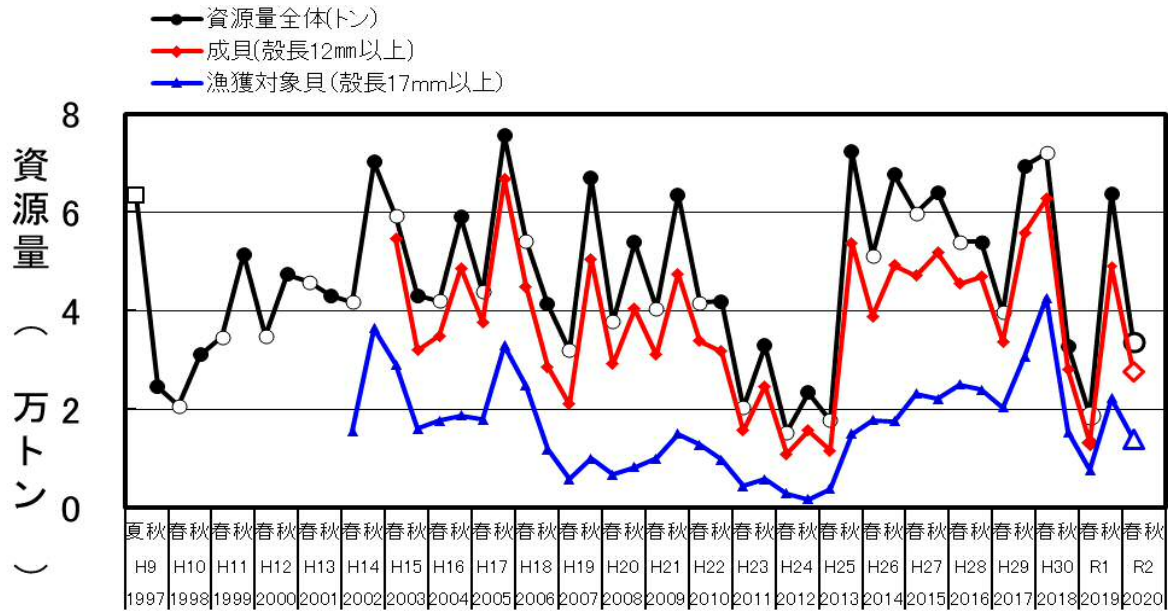


図2 宍道湖のヤマトシジミ資源量の推移

今後の見通し

今季の資源量は、昨年秋季から減少したものの、昨年春季と比較すると漁獲対象サイズ、および漁獲対象となる直前のサイズともに昨年春季より多い状況です(図3)。

今後、シジミの成長に伴い、資源の増加が期待されますが、引き続き資源動向を注視するとともに、漁獲対象資源の計画的な利用や、未成貝資源の保護のため、保護区や浅場の水草除去など、生育場の管理に取り組むことが必要と考えられます。

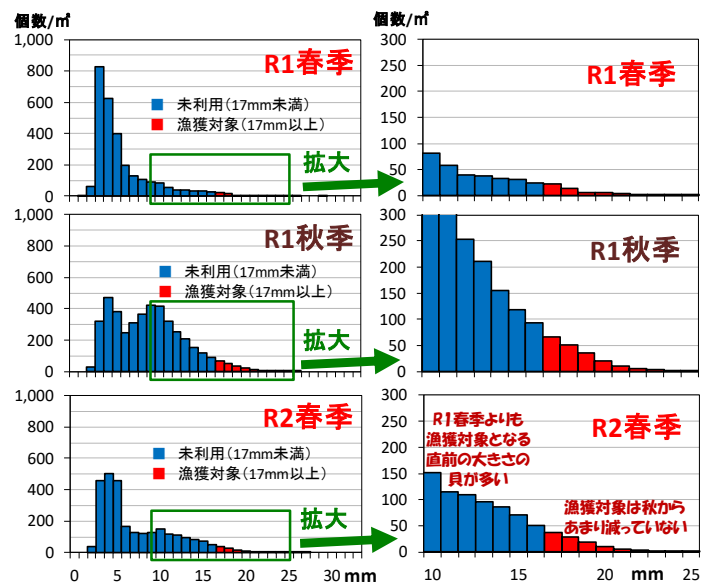


図3 宍道湖全体のヤマトシジミの殻長組成 (R1年春季～R2年春季、全調査地点の平均値)

島根県水産技術センター

島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1

TEL:(0855)22-1720 FAX:(0855)23-2079

ホームページ: <http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

E-mail: suigi@pref.shimane.lg.jp